

新潟生活

niigata seikatsu

第26号

2015年12月
発行

目次

教えて先輩! ● 地元に戻ってみえたこと
孫ターンという移住のカタチ

特集 ● 地方にビジネスチャンスあり! にいがた起業のススメ

～お子様が帰省された際に親子で将来を話し合ってみてください～

教えて先輩!
vol.49

地元に戻ってみえたこと

歌うことが好きで

小学生の時、横須賀から妙高に移り住みました。妙高の印象は、やはり雪。父の実家があるので何度か遊びに来ていたのですが、まもなく4月という時期に2メートル近い雪の壁が道路沿いに続いていたのは、新しい生活への不安を煽りました(笑)

物心ついた頃から漠然と歌手になりたいと思っていて、東京の音楽系専門学校に進学。学校で行われた新人発掘オーディションで音楽事務所のディレクターから声を掛けられ、トントン拍子で「Jungle Smile」としてプロデビューしました。

「Jungle Smile」として活動するなか徐々に体調を崩し、2002年に活動を休止。ライブやプロモーションと曲づくりを並行して行うことが続き、休みが削られて、どんどん自分にプレッシャーをかけていたのかもしれない。今思うと、入院という方法でしか「休む」ことが出来なかったのだと思います。

歌いたいという気持ちが

地元でのんびり過ごして徐々に体調が戻ってきた頃、進学・就職先からUターンしてきた友人たちと会う機会がありました。懐かしい話をしながら、「妙高」の将来、自分たちの将来を危惧し、町や自分たちのために何かしようという話に。地元で働き、地域に貢献する方法を話し合い、「自分たちに出来ることを協力し合いながらやっていく」ことになりました。私自身は何ができるか。やはり、自分に出来るのは「歌うこと」。また歌いたいという気持ちが生まれ、2010年12月に妙高でコンサートを開きました。実行委員は友人たち。コンサートには多くの方が来てくだ



さり、みんなで力を合わせて「歌うこと」の素晴らしさを知りました。

地元でのお客は子どもからお年寄りまで幅広く、私の歌を知らない人も多いです。そういう環境で「歌」を届けることの難しさはありますが、それでもその中の何人かに届いたと実感できたときは感激しました。これも田舎で暮らし始めたことで見えたように思います。自分の居場所がここにあることに良かったです。



高木 いくのさん (40歳)

歌手、妙高市観光大使

高木いくの Official Website <http://www.ikunov.net/>

地域
妙高市

小学5年生の時に家族で妙高市に移住。高校卒業後、歌手を目指して上京。新人発掘オーディションでスカウトされ、1996年プロデビュー。2002年体調を崩し活動を休止。地元に戻り療養に専念。現在は妙高市を拠点に音楽活動を再開している。

教えて先輩!
vol.50

孫ターンという移住のカタチ

孫ターンなのです

栃尾市(現長岡市)出身の母親が里帰り出産をしたので、私も弟妹も栃尾市生まれなんです。小さい頃は、東京都小平市に住んでいましたが、母の田舎である栃尾市にはよく遊びに行っていました。私の場合、UターンやIターンとは若干ニュアンスが違うので、自己紹介する時は「孫ターン」とお話することにしています。祖父母が住んでいる場所で農業を始めることに、あまり不安はなかったと記憶しています。

田舎で暮らすこと

2011年から農業を始めました。5年目の今も、試行錯誤の日々。農薬や化学肥料を使わない有機農業に取り組み、枝豆などの穀類を中心に路地で野菜をつくっています。私たちは、自分の家族が安心して美味しく食べられる野菜を、そして私たちの野菜を食べて欲しい人たちのために、大切に野菜を育てています。

自分で育てたものを食べる喜びは格別ですね。今は個人への販売のほか、長岡市や新潟市の直売所や飲食店、新宿伊勢丹の伝統野菜コーナーにも卸しています。食べてくださった方からの「おいしかった」という言葉が、励みになっています。

今の世の中、欲しい物はインターネットで手に入るし、どこに住んでいてもそんなに困ることはありません。私は、慣れ親しんだ場所で農業をしたいと考え、祖父母が住むこの地を選びました。田舎では、都会から移住してきたというだけで注目してもらえ、いろいろなチャンスをもたらえますよ。

現在、地域の子どもを対象とした「寺子屋」

をつくる計画を、妻と進めています。勉強だけではなく、地域のことも伝えたいと考えています。子どもたちに地元に関心を持ってもらい、好きになってもらえたらと思っています。



刈屋 高志さん (33歳)

刈屋さんちの安心野菜のサイト

URL : <https://www.facebook.com/kariyabr>

地域
長岡市

長岡市出身。高校卒業後2年間中国へ留学。帰国後、都内の大学へ進学。2009年に震災復興支援員として長岡市太田地区を担当。一年半の支援員経験後、28歳の時に以前から考えていた農業をスタート。農薬を使わない栽培に取り組み、「刈屋さんちの安心野菜」として販売。

地方にビジネスチャンスあり!

にいがた起業の ススメ

にいがたへのU・ターン、仕事は何をしますか。企業に就職、農業にチャレンジ、NPOで地域社会に貢献。色々な選択肢がありますが、U・ターンという転機にこそ、新たなビジネスを起こすチャンスがあるかもしれません。今回は、ノウハウやスキルを活かしてU・ターン先で起業し新潟を盛り上げている方に、ビジネスのポイントや強みをお聞きました。



多くの人に親しまれるカレーを安価で提供 200円カレーで恩返し

株式会社原価率研究所 代表取締役 菅野 優希さん
福島市出身。20代でコンサルティング会社を起し、スイーツ開発や飲食店の立ち上げを支援。東日本大震災を機に移り住んだ新潟で2014年、飲食店の原価率とビジネスモデルを研究する「原価率研究所」を設立。いつでも、誰でも、何度でも食べられる200円カレーの販売を手がけ、県内に6店舗をかまえる。
株式会社原価率研究所 <https://www.facebook.com/genkaritsu>

きっかけは恩返し

新潟でビジネスをはじめたきっかけは“恩返し”です。福島から避難してきた自分たち家族。自然体で受け入れてくれた新潟に恩返しするにはどうしたらいいか。ずっと考えていたとき、新潟のカレー消費量が日本一というデータを知りました。そこで思いついたのが、若若男女問わず幅広い人に親しまれているカレーを安価で提供するビジネスです。

研究と工夫を重ねて 生み出された200円カレー

飲食店をはじめ、様々な事業をサポートしているので、ビジネスのノウハウとアイデアは豊富です。裏付けを大事にし、博打はうたないことでビジネスをヒットに導いてきました。商品の選択や価格設定においては、“消費量が多い、誰でも知っている、誰でも買える”ことが重要。マーケットのニーズを無視して自分の好きなものを提供し続けても、ターゲットが狭



まりうまくいかない。カレーなら誰でも知ってるし、新潟での消費量の裏付けもあります。味も大事。毎日食べても飽きのこない、誰にでも親しまれる味を目指して改良を重ねています。実際、毎日買いにいらっしゃるお客様も多く、本店だけでも年間30万食を売り上げました。

恩返しですし、価格は誰でも買えるくらい安価でなくてははいけません。安価だからこそ消費量も伸びる。その限界値が200円。赤字にならないかとよく聞かれますが、原価を抑えるための研究を日々重ねていますので、経営として成り立っています。

原価を抑えるために

原価を抑えるポイントのひとつは、大手食品メーカーと共同開発したカレールー。新潟への思いを交渉で伝えることで低価格で仕入れることができました。宣伝は口コミ中心。200円というインパクトのある価格と新潟への思いで、宣伝費をかけずとも口コミで広がっているし、メディアで取り上げられることも多いです。他にも容器や店内設備の配置を工夫して販売コストを削減するなど、様々なアイデアで原価を抑えています。

今後の事業展開

“人のために、地域のために”やってきたビジネス。今後、年間100店舗、10年で1,000店舗を出店。地域の活性化や災害の支援拠点を目指します。これまでも立地条件の悪い場所へ出店してきました。人通りが少ないところに出店することで、人の流れが生まれ地域が活性化していま



す。交流の場にもなっている。多店舗展開して新潟を元気にしていきたいです。また、全国の災害の多い地域に店舗をかまえ、災害時の支援拠点としての役割も担いたいと考えています。これは実体験からの思い。災害時に迅速に食料を供給することは重要です。各研究所では100人分のルーを備蓄。15分で50食用意できます。

若者に夢を

私自身は新潟を代表する若手起業家を目指します。新潟を、若者が起業しやすいところになりたい。若者が地域の中心にいればおもしろいし、街は元気に新しくなっていく。若者に夢をみせられる成功モデルとなるために、これからも経営に尽力していきます。



ハイクオリティな レコーディング技術を新潟へ

株式会社エヌトライブ 代表取締役 井上 一郎さん
新潟市出身。高校卒業後に上京し、音楽業界でレコーディングエンジニアとして活躍。多くの著名アーティストのレコーディングセッションに参加。2003年から故郷新潟でレコーディングスタジオ開設の準備をはじめ、2006年「株式会社エヌトライブ」として法人設立。アーティストのレコーディングの他、テレビ・ラジオ番組やCM制作も手がける。
株式会社エヌトライブ <http://www.n-tribe.com/>

いつかは自分のスタジオを

東京では、多くの著名アーティストのレコーディングに参加。充実した時間を過ごしていましたが、いつかは自分のスタジオが欲しいと思っていました。当時レコーディング機材は大変高価なものでしたが、今はパソコン1台でできる時代です。設備投資費が抑えられることから新潟でも音楽の仕事ができるのではと思い、U・ターンを意識するようになりました。



U・ターン先のマーケットを見極める

まず、新潟にU・ターンして勝負できるか同業他社をリサーチ。当時、新潟にあるのは放送局と映像会社のスタジオぐらいで、いくつかある音響系の会社も、録音よりもイベント音響を専門としていました。自分の得意な録音分野を専門とするライバルがいないので、唯一無二の存在になれるのではと考えたのです。

次に、ニーズがあるか。東京ではアーティストのレコーディング専門でしたが、新潟での需要を考えてテレビ・ラジオ・CM・ナレーション、そして音楽制作など、音に関する全ての事柄に積極的に取り組めば、様々なフィールドでの

ニーズが得られると思いました。今では自ら楽器を演奏して歌まで歌うこともあります。

起業サポート機関を活用

U・ターンして事業をはじめると、専門家のアドバイス無しでの決断は危険です。私の場合、地域での需要やビジネスの新規性、可能性を共に探ってくれるプロフェッショナル「にいがた産業創造機構(NICO)」との出会いが、U・ターン起業の決め手となりました。

NICOの助成金を活用したのですが、経営が安定しない創業初期に資金支援を受けられるのは心強かったです。助成金の申請時にはNICOのメンターやスタッフからのアドバイスをもらい、自分の事業計画の強み・弱みを知り、ブラッシュアップできました。公的機関から事業採択を受けたことが、金融機関からの創業資金借入や事業の展開にあたって信用を得ることに繋がったと思います。

起業後2年間、NICOの創業準備オフィス*を活用したのですが、同じ起業したばかりの経営者との繋がりが得られ、起業時の様々な悩みを共有、相談できました。また、異業種の方との交流が仕事に繋がった部分も多かったです。

にいがた起業の強み

新潟で起業する強みのひとつとして、広報の打ちやすさがあります。事業化にあたり広告・宣伝活動が必要ですが、県内の出版社や新聞社に飛び込みで電話すると、大都市と違い、すぐに取材をしていただけました。しかも色々な情報誌や新聞が有料広告としてではなく無料

の記事としてとりあげていただきました。

新潟を盛り上げていきたい

新潟で自分のスタジオをついたら、いろんなヒトが集まってきてくれ、多方面で仕事をさせてもらっています。NegiccoやHilcrhymeなど新潟ゆかりのアーティストやテレビ・ラジオCMのレコーディングをはじめ、今年メジャーデビューしたレルヒさんのCD制作、音楽関係オーディション番組の審査員、テレビ局の開局記念歌制作、専門学校で後進の指導など、活動の場が広がっています。

新潟にスタジオをつくれて、起業することができて本当に良かったと思っています。これからも、色々なカタチで新潟を盛り上げていきます。

※創業準備オフィス
創業しようとする個人、グループ、創業3年未満の企業等を対象に提供されるオフィススペース



新潟で起業する人を応援します!

新潟県内で新たに起業する方に、NICO(公益財団法人にいがた産業創造機構)が、起業に必要な経費の一部を助成します。

詳しくは

助成金	対象経費	助成率	
		50~100万円	100万円
申請者以外に2人以上*の新規雇用を伴う場合	50~100万円	助成率10/10	100万円
上記以外	50~100万円	助成率10/10	100万円

*U・ターンによる創業の場合は1人(雇用保険の一般被保険者となる労働者であること。ただし親等以内の親族を除く)。*左記は平成27年度に実施した「起業チャレンジ奨励事業」です。平成28年度以降、助成金事業の内容が変更になることがあります。



公益財団法人にいがた産業創造機構

経営支援グループ 創業・経営革新チーム
〒950-0078 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル9階
TEL025-246-0051(チーム直通)
<http://www2.nico.or.jp/>

ポータルサイト「niiGET」では、U・ターンに関する多くの情報を提供しています。 [アクセス](#) [ニイゲット](#) [検索](#)

新潟県U・Iターン コンシェルジュ

- あなたのご希望を転職のエキスパートが東京などに出向いてお聞きします!
- 豊富な新潟県内の企業情報をもとに、ご希望の仕事を見つけます!
- 住居や学校など生活に必要な情報を提供します!



新潟県へのU・Iターンをお考えの方、まずは登録を!

登録は <http://www.niigata-uitc.com/>

または

お問い合わせ・お申し込み

新潟県U・Iターンコンシェルジュ事務局 株式会社パソナ パソナ・新潟
〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7番町1230-7 ストックビル鏡橋3階
TEL ●025-226-7075(平日 9:00~17:30)
Email ●k.niigata@pasona.co.jp



会員登録

U・Iターンコンシェルジュへのご相談には、ホームページでの事前会員登録が必要です。(登録・相談は無料)

相談会・イベント情報

東京・新潟等での定期相談会やイベントの情報が掲載されています。

U・Iターンコンシェルジュフェイスブック

お仕事検索

職種、年収、地域、キーワードなどの条件であなたに合ったお仕事を検索できます。

ホームページ
リニューアルしました!

全世代向けU・Iターンポータルサイト 「にいがた暮らし」もお役にたちます

詳しくは<http://www.furusato-niigata.com>
または「にいがた暮らし」で検索!



世代別に必要な情報や、市町村情報が充実

- 世代別の「にいがた暮らし」情報
- にいがたの魅力
- 市町村情報
- 移住体験談のご紹介

にいがた暮らし相談窓口にご用の方はコチラ

東京・表参道に常設している新潟県へのU・Iターン相談窓口

にいがた暮らし通信

情報をメールマガジンやダイレクトメールでお届け(登録無料)

にいがた暮らしのイベント情報が充実

首都圏でのにいがた暮らしイベント情報や、地域おこし協力隊募集などの市町村情報

新潟U・Iターン総合サイト **nii GET** もご活用ください

詳しくは<http://www.niiget.jp>または、「ニイゲット」で検索!



働く・暮らすに関する情報が充実

9つのカテゴリーに分類されたサイト集で、新潟で働くこと、暮らすことに関する情報を掲載。

取材記事を好きな時にじっくり読むことができます。

ニイガタビト

週替わりでU・Iターンされた方や生き生き働いている方の声を発信。

就職 企業情報

新潟県内の就職・求人に関する情報や企業についての情報を随時更新しています。

合同企業説明会スケジュール

県内外で開催される新潟への就職に関する合同企業説明会の日程が掲載されています。

リンク集

新潟の仕事や暮らし、U・Iターンに関する情報満載のサイトがそろっています。

最新の新潟情報も手に入ります。

オススメ情報

グルメ、イベント、ボランティア活動などっておきの口コミ情報です。

Uターン情報誌

「新潟生活」と「新潟Uターン情報」をセットで無料送付しています。

新潟生活

- 新潟にU・Iターンした先輩の体験談
- 新潟の豊かな暮らしや魅力的な仕事の紹介など

新潟Uターン情報

- 新潟県内企業の紹介
- 就職活動の動向
- 就職ガイダンスのお知らせなど

送付をご希望の方は、ニイゲットでお申込み、又は新潟県新潟暮らし推進課までお問い合わせください

お申し込み・お問い合わせ

新潟県新潟暮らし推進課

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
TEL025-280-5635(直通)

